

第一期中期目標期間 業務実績評価(案) <試験研究分科会 評価結果案> (概要)

項目別評価

◎ 28項目について、評価を実施 <評価結果(5段階)>

評定	中期目標 期間評価
S(目標の達成状況が極めて良好)	4
A(目標の達成状況が良好)	12
B(目標の達成状況が概ね良好)	12
C(目標の達成状況がやや不十分)	0
D(組織、業務等に見直しが必要)	0
項目数計	28

◎ 評定「S」(目標の達成状況が極めて良好) / 4項目

○ デザインセンターでの製品開発支援

・高速造形機などの先端的な機器利用サービスやデザインセミナーにより、付加価値の高い新製品の企画・設計・試作を支援

○ 中小企業等への機器利用サービス

・中期計画の目標「平成22年度 30,000件以上」に対し、実績 43,760件 (5年間全て目標値を上回る)

○ 製品評価のための依頼試験

・中期計画の目標「平成22年度 85,000件以上」に対し、実績 99,629件 (初年度を除く4年間で目標値を上回る)

○ 外部資金導入研究・調査

・中期計画の目標「平成22年度 1億円以上」に対し、2.2億円の外部資金を獲得 (5年間合計で16.4億円)
・センター全体の研究開発企画と進行管理を行う組織を新設し、未利用の外部資金の獲得などに組織的に対応

全体評価

総評

「業務全体が優れた達成状況にある」

- 技術相談、依頼試験、機器利用サービスなど、技術支援については、目標を上回る高い実績をあげた。
- 地方独立行政法人のメリットを活かして、中小企業のニーズに即した様々な支援メニューを迅速かつ柔軟に立ち上げるとともに、多くの業務改革を実施するなど、機動力のある業務運営を展開した。

評価のポイント

- 中小企業の製品開発を支援するデザインセンターや環境試験センター、製品開発支援ラボ、オーダーメイド開発支援などでサービス向上に努めたことにより、利用件数を伸ばしていることに加え、優れた製品開発事例が現れている。
- 依頼試験においては、LED照明の急速な開発需要の拡大や、CEマーキング等の海外規格に則した品質証明等の増加に的確に対応している。
- 基盤研究の成果を、外部資金導入研究や、中小企業と共同で行う実用研究につなげている。
- 平成22年2月に開設した多摩テクノプラザについては、多摩地域の産業特性を踏まえた機器整備やセミナー開催が図られたほか、広報活動などにより広く周知され、利用者が急伸した。
- 東日本大震災や福島第一原子力発電所事故に際して、緊急体制を敷いて放射性物質の測定や都民等からの相談に対応するとともに、他道府県との広域連携により被災地支援を開始したことを高く評価。

第二期に向けての課題及び要望

- 江東区青海での新本部開設を契機に、より一層のサービス向上や効果的な技術支援、研究開発事業を展開するなど、さらにステップアップした組織運営を行っていくことを期待する。
- 中小企業の期待に応えられる試験研究機関であり続けるため、財源や人材など限られた経営資源を有効活用しつつ、技術支援事業と研究開発事業の、バランスのとれた業務マネジメントを行うことが肝要。